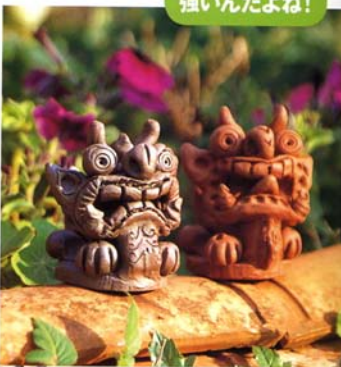


子どもも大人も夢中！ 粘土の塊が、だんだんシーサーになっていく。みんな同じように作っていくが、できあがったシーサーの顔はそれぞれ違う。



シーサーって魔よけなの？ 強いんだよね！



陶芸家の宇江城昌樹さんと、シーサー作りの指導をしてくれた弘子さん。赤瓦の屋根の住居兼工房は、とても心地よい空間だ。吹き抜けの裏は、ぜひたくや天然ウーラー。「シーサー作り体験は、朝9時から夕方5時まで受け付けています。工房と家の送迎も無料です」と笑顔の弘子さん。

「いいよ、かわいいよ」  
「でしょ！ 君に似たシーサー、作ってみたい」  
「お母さん、焼成したものは、約1カ月後に自宅に届く予定。楽しみだね。」  
「できた！ かいせい」  
「おー、いいじゃないの。」  
「お母さんもできた。お鼻がちょっとブクミたいになっちゃった。」  
「だわ。祖父母の影響ってキョーレツ。」  
「お母さんもできた。お鼻がちょっとブクミたいになっちゃった。」

●やちむん土炎房  
☎098-985-7457  
シーサー作り 3,000円  
(送料別途)

## また訪れたい、親子で久米島！

子連れで島旅を楽しむには、久米島はベストチョイス。とくに子どもが小さい(学齢前と)、移動や現地状況がハードだと親も子どもツライ。その点、久米島なら6月から9月まで、東京から久米島までJTAの直行便が飛ばし、那覇からでも約30分。宿泊も食事も、日用品の買物も、いざというときの医療施設も整っている。今回、泊まった「リゾートホテル久米アイランド」は、イーブイチのすくそで、食事処も歩いて行ける所にいくつもあって助かった。

その上、海遊び、山遊び、島内ドライブ、久米島パーデハウス、泡盛工場見学など、1回の旅行では足りないほど、お楽しみが盛りだくさん。のんびりしたい家族はもちろん、カンガリ遊びたい家族も満足できる。なにより、島の人たちは温かい。沖縄の「島」を好きになるのは、人が素朴で温かいからだと言言うけれど、その通り。子ども連れけれど、さらにさらにどこに行っても温かく迎えてくれた。2回3回と久米島リピーターになれば、気分は島人だ！

## Enjoy Kume J.

### 母のんびり、海のプール「パーデハウス久米島」

久米島親子旅行で、のんびりしたいお母さんたちにおすすめなのが、「パーデハウス久米島」。久米島が誇る海洋深層水を100パーセント使ったパーデプールでアクアプロگرام(水圧マッサージなど)を受けると、身体すっきり、お肌バカピカ。胸に浮き輪をつけた子どもも、「しょっぱい海のプール」といって大喜びだ。

久米島の海洋深層水は、ミネラル分が豊富で、比重が大きい(圧力を感じる)ために、温浴療法の効果があぶるために、殺菌・保湿作用のある月桃の葉の蒸気で蒸されるスチームサウナも癒やし効果抜群だ。「パーデハウス久米島」は、夏は、海の家のように利用できる。テラスから海(寶石の島)に降りられるので、館内に遊きた子どもを海に連れ出すこともできる。子どもはお父さんに任せて、お母さんはプールでゆったり。アクアトリートメントでリラッシュも。

●パーデハウス久米島  
☎098-985-8600  
※パーデプール 10～21時(最終受付20時)、アクアトリートメント 12～20時  
※第2・4木曜(6～9月は無休。施設メンテナンス時、台風時は臨時休業)  
料金 パーデプール利用料 2,000円、スパ・サウナ利用料 1,000円、全館利用料 2,500円、水着・館内着のレンタルあり(300円)  
<http://www.bade-kumejima.co.jp/>

